

第十回

# 聖福寺落語会



とき

平成30年4月7日(土)  
開演14:00(開場13:30)

出演 柳家さん喬・林家つる子

木戸銭 剪2,500円/嘗3,000円

定員 250名(椅子席)

ところ

聖福寺方丈  
(福岡市博多区御供所町6-1)



■主催 聖福寺、聖福寺世話人会 ■共催 博多さん喬を聴く会

■後援(財) 福岡文化財団、西日本新聞博多まちなか支局、博多まちづくり推進協議会、御供所まちづくり協議会

チケット販売・予約  
お問い合わせ

聖福寺 092-291-0775 (9:00~17:00)  
ファックス 092-291-0758 メール zen@shofukuji.or.jp

# 聖福寺の歴史

聖福寺は、建久6年(1195)、栄西禅師が鎌倉幕府初代将軍源頼朝公より博多百堂の跡地を賜り、日本で最初に開創された禅宗寺院です。後鳥羽上皇より「扶桑最初禅窟」の勅額を賜り、名実ともに日本最初の禅寺として800余年の歴史を刻んでまいりました。

その栄西禅師が入寂されたのが1215年。2014年(平成26年)800年遠諱大法要が行われました。

創建当初仏殿に安座されていた丈六(4.8m)三世仏(弥陀、釈迦、弥勒如来)が再三の戦火で焼失していましたが、平成24年(2012)9月、数百年ぶりにこれを再興いたしました。

更に、境内には栄西禅師が著した「興禅護国」の碑を建立(平成26年1月)して、その遺徳を偲ぶ縁といたしました。石碑の裏には、興禅護国論の序文「大いなる哉心や・・・」の文字が刻まれています。

仏教離れが広がり始めている今日、皆様におかれましては、この落語会をご縁に栄西禅師の説かれた禅について改めて触れる機会となりますよう、心から願ってやみません。

## 柳家さん喬 やなぎやさんきょう



古典の人情噺や滑稽噺を得意とする実力派。人物描写や背景を丁寧に演じ、物語に奥行きと味わいを与える話芸に定評がある。また日本舞踊を得意としており、高座での美しく折り目正しい所作も魅力の一つ。得意とする演目は「片棒」「そば清」「百川」「井戸の茶碗」「棒鱈」「幾代餅」「天狗裁き」「柳田格之進」「芝浜」など。

### ■芸歴

1948年8月 東京本所生まれ  
1967年4月 五代目柳家小さんに入門 前座名「小稲」  
1972年11月 ニツ目昇進 「柳家さん喬」と改名  
1980年10月 真打試験合格  
1981年3月 真打昇進  
2001年10月 理事付役員に就任  
2006年6月 落語協会常任理事に就任

### ■受賞歴

1984年 国立演芸場金賞受賞  
1986年 文化庁芸術祭賞受賞 若手花形にて  
1987年 選抜若手演芸大賞真打部門大賞受賞  
1994年 第11回浅草演芸大賞新人賞受賞  
2013年 平成24年度(第63回)芸術選奨 文部科学大臣賞受賞(大衆芸能部門)  
2014年 2014年度(第42回)国際交流基金賞受賞  
2014年 第31回浅草芸能大賞 奨励賞受賞  
2016年 平成28年度文化庁文化交流使  
2017年 紫綬褒章受賞

## 林家つる子 はやしやつるこ



出身地 群馬県高崎市  
出身大学 中央大学 文学部人文社会学科 中国言語文化専攻  
趣味 音楽鑑賞/ピアノ/ギター/ダンス/韓国アイドル全般  
特技 日本舞踊/中国語

### ■現在までの経歴

2010年9月 九代目林家正蔵の元に落語家として弟子入りする。  
2011年1月 横浜にぎわい座「林家正蔵一門会」にて初高座。演目は『みそ豆』。  
2011年3月 前座となり、各寄席で修行を重ねる。  
2015年11月 ニツ目昇進。  
2015年11月 講談社主催のオーディション「ミスiD2016」にて、「iOJAPAN賞」を受賞する。  
2016年7月 ぐんま観光特使に任命される。  
2017年4月 群馬地酒大使に任命される。  
現在、寄席、全国各地の落語会、笑点「若手大喜利」などに出演中。  
<http://tsuruko.jp/>